

野太刀自顕流研修会（鹿児島市）

□ 地域塾の構成

幼児5人，小学生7人，中学生2人
その他15人 計29人

□ 代表者

会長 森山 清隆

□ 設立年

明治12年

□ 活動を始めたきっかけ・背景

江戸時代から続く鹿児島の郷中教育，自顕流を継承するために明治12年に設立された。

□ 地域塾の目的(次代に引き継ぐ理念、精神)

郷中教育を中心とした伝統と文化を尊重し，学校・家庭及び地域と緊密に連絡を図りながら，知・徳・体の調和のとれた人づくりに資する。

□ 地域塾の特色

長年に渡り，郷中教育を中心に鹿児島の古武道，伝統芸能を継承してきており，異年齢の集団として地域の伝統を学び，継承していく体制がとれている。また，小学校や中学校における自顕流体験学習を実施するなど，地域・学校と連携した取組を行っている。

□ 主な活動

- ・ 自顕流・薩摩琵琶・天吹の稽古
- ・ 慰霊祭・妙円寺詣り等への参加
- ・ 破魔投げ等の伝統的行事の実施

□ 今後の展望

現在は，幼児や小学低学年生の参加が多く，高学年の人数が少ないが，高学年以上の子ども達が率先して郷中教育の精神，野太刀自顕流の技を伝える活動を牽引していけるようにしたい。

□ 紹介プロフィール

自顕流，天吹，薩摩琵琶を通して郷中教育の教えを普及し，子供，保護者，地域の方々に貢献できる人間力を養うことを特色とした活動をしている。

【活動の様子】



普段の稽古風景



小学校合同の自顕流体験学習



相撲で体を温める様子